

# 家庭教育学級等において親の学習機会を

東京都教育庁  
地域教育支援部生涯学習課

## 1 講座を企画するときには“5W1H”で

### ①講座の趣旨(Why)

地域の情報や調査結果などから現状、ニーズ、課題を把握しましょう。そこから講座の趣旨やねらいが見えてきます。

### ②内容(What)

内容は、例えば次のようなものが考えられます。

#### 【知識を学ぶ(知識の獲得)】

乳幼児期の発達に関すること、子育てに関すること、学童期のことなど。手法としては、専門家による講義・講演会などが適切です。

#### 【コミュニティから学ぶ】

子育ての先輩や仲間と共に考え語ることとおして、自分の子育ての不安を解消したり、地域につながりを作ることができます。子育ての不安の解消や自分が認められる仲間の存在は、子育ての力の向上の基礎になるでしょう。手法としては、話し合い、グループワークなどファシリテーターを介しての参加型の進め方がよいでしょう。

#### 【行動・活動を通して学ぶ】

仲間とともに具体的に行動をすることで、地域のつながりを広げ、さらに自主的に街づくりや地域の課題解決に参加していく力をつけます。連続講座や

自主講座の企画など、長いスパンでの学習になります。

子育てマップ作り、映画作り、地域の行事の企画など具体的に目標となる活動内容を決めて、ワークショップなどを活用して進めるとよいでしょう。

### ③時期・タイミング(When)/④場所(Where)

趣旨に沿って内容を充実させるためには、いつ、どこで開催するかは、大切な要素です。

行政の他セクションや、市民グループ、NPO、企業などとの連携も視野に入れて、よりよい時期や会場を設定しましょう。

### ⑤対象(Who)

乳幼児期の子をもつ親と言っても子供の年齢、就労状況、抱えている問題や不安など多様です。対象をしっかりとらえることにより、テーマもいっそう明確になります。

### ⑥方法(How)

ニーズ、内容、対象により、適切な方法を選択します。講演会スタイルの座学、参加型学習(参加者がお互いの気づきや考えを共有しながら学習を進める方法。KJ法、ディベート、ランキングなど多様な手法がある)、共同創作作業をするワークショップ、車座での“語り合い”、フィールドワークなどがあります。

### ⑦その他

#### ○保育

乳幼児期の子をもつ親・保護者を対象にする講座の場合、一時保育についても考える必要があります。

特に、知識を学ぶ講演会や、親同士がじっくり話し合う場合などは、親の学習の効果を高めるために講座の会場とは別に保育室があることが望ましいです。

一時保育に際しては、保育室の確保のほかにも、保育の申込みや受付、保育者の依頼、保険の加入、当日の保育に関するルール(持ち物や時間など)を参加者(親・保護者)にあらかじめ理解してもらっておくことなどを決めておく必要があります。

#### ○広報

対象に情報が届くように、そして参加したくなるよう、広報媒体(チラシ、自治体の広報誌、インターネットなど)と内容を工夫しましょう。

## 2 家庭教育学級のプログラム例 ～社会教育施設での連続講座～

○趣旨:乳幼児期の子をもつ親が、子供の発達の科学的な知見に基づいた生活リズムの大切さなどについて学ぶとともに、地域に子育ての不安を解消したり悩みを分かち合える仲間を作るきっかけを提供する。

○会場:A町公民館とB町児童館

○内容:全10回の連続講座

○対象:乳幼児期の子供の親・保護者 毎回20名

○時期・期間・日程等:10月から11月(暑すぎず、寒すぎないので参加しやすい)  
・毎週火曜日、午前10時30分から12時まで

### 「子供の発達を学んですくすく子育て・仲間を作ってわくわく子育て」

	各回のテーマ	講師の例
1	子供との絆を築こう ～抱っこして安心、みつめあって笑顔	児童相談の経験のある発達心理の研究者
2	子供の脳は、こう育つ ～豊かな心を育むために	脳科学・発達心理の研究者
3	子供の発達と夜更かしの悪影響 ～やっぱり早起き・早寝が大切!	小児科医、睡眠の研究者
4	子育て座談会(1) 子育ての先輩に聞いてみよう!	※ファシリテーター 地域の子育て支援グループ
5	朝ごはんのパワー ～食べることは命のエネルギー	管理栄養士、食育の指導者
6	遊んで動いて、よく育つ!	幼児の発達に関する研究者、 幼児教育の研究者
7	子育て座談会(2) こんなとき、どうしてる?不安と悩みの相談会	※ファシリテーター 子育て支援グループ
8	歌と手遊び・外遊び ～コミュニケーションも五感の刺激もたっぷり!	保育の研究者
9	子育て座談会(3) このまちの子育てについて	自治体の子育て支援担当者 まちづくり担当者
10	学習のまとめをつくろう!	事業担当者